

2022年3月24日発行

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川イグレンニュース〈第227号〉

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集：事務局長 愛賢司

（目 次）

- 第56回海老名サロン開催案内 (1頁)
 - 1. 「我が社の事業と課題」 TDI グループ TDI プロダクトソリューション (株)
半導体事業部事業部長 水津 貢一 氏
 - 2. 「外国人人材の活用と課題」 (株)JOINT ASIA 代表取締役 杉本希世志 氏
- 第92回西湘サロン開催 (2頁)
「人間って？」～ 違いを知って、人間関係上手になろう
ODCatalyst 代表 本木和子 氏
- 第83回アジアビジネス探索セミナー (3頁)
 - 報告1 ミャンマー軍のクーデター1年後の現実
－ ASEAN, 笹川財団が進める解決策はうまく進むのか －
ミャンマージャポン(株) CEO 永杉 豊
 - 報告2 ミャンマーで工場を運営して見て解かるクーデターの現実
－ 潜入してミャンマーの内戦状況の現実を見る、どこにあるこの国の解決策 －
(株)小島衣料 オーナー 小島正憲
- 2021年の日本企業のアジア投資状況ハイライト (4頁)
アジアビジネス探索者 増田辰弘
- 神奈川県異業種連携協議会講演会(予告) (6頁)
「V字回復したソニーのDNAと未来」
講師 株式会社ワンダーワークス 代表取締役 田村慎吾 氏

第56回海老名サロン開催

日時 2022年5月13日（金）午後3時より

会場 神奈川中小企業センター6階大研修室

新型コロナウイルス感染拡大に伴うまんえん防止等重点措置が全面解除されましたが、感染者数の高止まり状態が続いていてまだまだ油断はできません。しかし、手をこまねいてばかりもいられません。可能な限り異業種交流を進めていきたいと思っております。前回やむなく延期しました海老名サロンを再開したいと思っております。是非ご参加ください。

【報告】

1. 「我が社の事業と課題」

TDI グループ TDI プロダクトソリューション（株）

半導体事業部事業部長 水津 貢一 氏

2. 「外国人人材の活用と課題」

(株)JOINT ASIA 代表取締役 杉本希世志 氏

参加費（資料費等） 1,000円

交流会 4,000円

出席確認 ア サロン出席 イ 交流会出席（○をご記入ください）
参加申込書

氏名：

会社名：

部署/役職：

TEL：e-mail：

FAX 045-228-7331 email aikenji1024gmail.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」

第 92 回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター

【日時】：2022年5月17日（月）午後6時30分～8時00分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センターUMECO（TEL：0465-24-6611）

（JR小田原駅東口より徒歩約2分 駅東口駐車場1階です）

【会費】：参加費 500円（当日）

「人間って？」～ 違いを知って、人間関係上手になろう！

ODCatalyst 代表 本木和子様



ODCatalyst 株式会社

(<https://odcatalyst.com>)

職場でもどこでも人間関係って難しい。そう思いませんか？ 一人一人違うから、と言いますが、ではその違いって何でしょう。それを知る一つは、「人の動機や欲求」を理解することです。そうすることで、相互の理解を深め、人間関係がストレスではなくなるかも？ まずは自己理解、それが他人を理解することに繋がります。今回は、組織づくりや人材育成の組織人事コンサルタントから人間関係向上のヒントに関してお話を頂きます。

参加申込

E-mail yoshiike@maple.ocn.ne.jp

吉池

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
メール		FAX	()

激変するアジアを追いかけてみませんか

アジアを活用した新しい企業、日本人の生き方を探る

● アジアビジネス探索セミナー

発行人 増田 辰弘

毎月のようにアジアに出かけておられますと、気が着くのは変化が大変大きなアジア経済です。新しいビジネスの流れをゲストを招いたかたちで探索する「アジアビジネス探索セミナー」を企画いたしました。ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

日 時 2022年5月20日(金) 18:00-20:00

場 所 中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル6F
(八重洲地下街18番出口直通) 03(5542)1989
ビジネストランスファー会議室 (東京駅八重洲北口徒歩1分)

- 1 ミャンマー軍のクーデター1年後の現実
－ ASEAN, 笹川財団が進める解決策はうまく進むのか －
ミャンマージャパン(株) CEO 永杉 豊
- 2 事例報告 ミャンマーで工場を運営して見て解かるクーデターの現実
－ 潜入してミャンマーの内戦状況の現実を見る、どこにあるこの国の解決策 －
(株)小島衣料 オーナー 小島 正憲
- 3 2021年の日本企業のアジア投資状況
アジアビジネス探索者 増田 辰弘
- 4 会費 3,000円
(当日、受付でお支払いください。)

※ お申し込み/お問い合わせ先

氏名とさしつかえなければ、所属先、部署・役職、ご連絡先を明記の上、メールあるいはFAXで 事務局までお申込ください。事前の申込をお願いいたします。

※ 「アジアビジネス探索セミナー」参加申込書

氏名:

会社名:

部署/役職:

TEL: e-mail:

※ 送付先・ アジアビジネス探索セミナー事務局

090-4124-2496

FAX 03(3659)7077

e-mail. i-daruma@igarashireport.com

2021年の日本企業のアジア投資状況ハイライト

アジアビジネス探索者 増田 辰弘

1 概況

日本企業の2021年の日本企業のアジア投資は、前年比8%増の9兆8678億円となった。コロナ禍の影響で急激に落ち込んだ2020年の反動増という側面もあるものの、平年ベースの10兆円に近付いた。アジア投資は少なくとも表面的には積極的に実行されたと言って良い。少なくともいうのは、アジア投資のなかでシンガポールと香港への投資で全体の63%を占めるからだ。製造業の投資ではベトナムとタイに集中するような投資形態となった。

このようにコロナ禍で日本企業のアジア投資の動向が明らかに変わったと言って良い。その大きな点はシンガポールを軸としたM&A案件、成長企業への投資、買収案件が急増したこと、製造業については中国、韓国、台湾へはその国への市場に合わせたハイテク業種での投資、輸出拠点への投資はベトナムとタイへ集中する傾向が強まった。

2 シンガポール

日本企業の2021年の日本企業のシンガポール投資は、前年比151%増の5兆4508億円と実にアジア投資全体の55%を占める極めて大きな規模に拡大した。まず、M&A案件が増えた要因であるが、ひとつはシンガポールは日本企業がASEAN地域に展開する企業の本社が多いこと、ふたつめはコロナ禍で経済のダメージで対象企業の値頃感が増したことである。TPPやRCEPなどの多国間の経済協定が加速し、シンガポールがその中核拠点にあることも大きい。

シンガポールでの大型案件を見ると三井住友銀行がブロックチェーン(分散型台帳)を活用した貿易金融ネットワークを運用する「コントゥア」に出資、明治安田生命保険相互の現法設立(香港から移転)などがあげられる。このほか建設業、製造業などの業種においてもM&Aや現地企業への出資が進んだ。

3 中国・香港

中国・香港への投資は、前年比9.6%増の2兆1912億円であるが実際には中国への投資が減り、香港が増えたため結果としてプラスである。しかし、中国への投資は、5Gの普及によるネットやスマートフォンを利用するハイテクサービス業、電気自動車(EV)関連分野、ロボット・工作機械分野、半導体分野と戦略分野が多く、今後とも中国を中心とした経済圏の成長は見込まれており、製造業の戦略分野での投資の活発化は期待される。

4 タイ

タイへの投資は少し複雑である。外国企業の投資は、BOI(タイ国投資委員会)に対する投資申請額は2020年がコロナで不調であっただけに前年比220%増の3721億バーツである。なかでも日本企業は1位で前年比83%増の678バーツとなっている。投資内容は、自動車、太陽光発電、不動産、物流と多分野に及んでいる。ただ、コロナの影響でBOI以外の外国企業の投資は減っている。

5 ベトナム

中国、台湾などに続きコロナを抑え 2021 年の始めまでは経済は好調であったが、夏以降のコロナの蔓延とその対策により経済は急降下する。外国企業の投資は前年比 9% 増の 311 億ドルで、中国からの生産移管を含め、ベトナムが世界規模でのサプライチェーンの一角を占める重要国となった感がある。

日本企業の投資も前年比 25% 増の 4651 億円とコロナとは関係なく伸びた、さすがに新規投資こそ少ないものの製造業、再投資を中心に好調であった。不動産、太陽光発電など再エネなどの投資も活発であった。

6 韓国

韓国への世界からの投資は前年比 57% 増と大幅に伸びた。デジタルニューディール関連と洋上風力発電、太陽光発電などのグリーンニューディール関連投資、ICT を基盤としたサービスやコンテンツ分野である。国別では EU、米国が大きく伸びた。一方、日本企業の投資は 60% の減である。ただ個別の案件を見ると積極的な投資分野も多く、なかでも半導体、電子の周辺産業での投資は活発であった。具体的な事例としては住友化学の半導体用高純度ケミカルを増産、フジキンの半導体ガス装置工場の増設などである。

7 台湾

コロナ対策が成功している台湾経済は好調に推移した。先進国で 2021 年、2022 年のプラス成長は台湾のみである。現在の台湾経済に弱みは存在しない様に見える。外国企業の投資額は前年比で 17% 減と大幅に落ち込んだがこれは 2020 年の大型投資が集中したことにより反動減と見たほうが良い。日本企業の投資は半導体、工作機械などの分野を中心に堅調で新型コロナの影響はみじんも見せない。これは台湾政府の産業政策が正しかったことを示している。

8 インドネシア

外国企業の投資は、金属産業、鉱山産業、物流業を中心に前年比で 10% 増の 227 億ドルと堅調に推移した。ただ、日本企業によるインドネシア投資は対前年比で 17% 減である。ASEAN 投資はタイ、ベトナムへの集中を強めており投資意欲は低下したままである。

9 インド

インド経済はコロナ禍により極めて大きなダメージを受けたが、経済は順調に回復へ向かいつつある。外国企業の投資は、電機・電子、IT、医薬分野を中心に 2020 年が史上最高額（286 億ドル）であったが 2021 年もこれを更新する勢いである。一方、日本企業による投資は 2020 年（1950 億円）を下回る低調さである。ただ、日本電産、クボタ、芝浦機械、ミスミなど工作機械関連分野などの投資は活発である。

10 流通業・サービス業

コロナで一番影響を受けた流通業・サービス業も大きな変化があった。日系企業を代表する百貨店である伊勢丹がシンガポール、バンコクの店を閉店した。バンコクでは東急百貨店も閉店した。現在、アジアでは日系百貨店は 33 店舗で最盛期から 4 割も減っている。これは前方に成長する現地の百貨店などの流通業、後方にネット通販業の挟み撃ち合っている状況であるからだ

それでは日系どこが好調かと言えどドンキホーテでありダイソーなどの新流通業である。ドンキホーテはこのコロナの時期に昨年より台北に2店、マレーシアに2店も新規開店している。現在、アジアに同社はシンガポール、香港、タイなどを中心に28店展開している。

このドンキホーテはアジア展開では日本国内とはやり方も大きく変えている。「DON DON DONKI (ドンドンドンキー)」(アジアでのドンキホーテの店の名前)はジャパンブランド・スペシャリティストアと称して商品の半分は弁当、総菜、鮮魚、日本酒、野菜などの日本の食品を売っている。「今日は北海道のホタテ特売日」のなどとイベントを打ちながらたくみに売っている。

ダイソーもアジア各国に256店展開している。特にタイでは120店で全国展開している。ただ、ここも日本国内と異なるのは価格が100円ショップでなく国により差はあるが概ね200円ショップである。そして、店内がまばゆいばかりのキンラキンラキンで明るい。これは日本料理店も同様に渋く落ち着いた感じの店は現地では受けない。もちろん品揃えは現地向けに編成されたメニューも豊富である。

大手企業だけではない。中堅企業もがんばっている。バンコクだと横浜のローカルスーパーマーケットであるフジスーパーである。この店は、日本酒、お米、お酒、くだものなどが日本の店とまったく同じ様な品揃えを目玉にして市内で4店舗展開し好調を維持している。30年前に進出した時は、タイ駐在の日本人向けであったが現在の顧客の半分は日本の食品大好きな現地のタイ人である。

アジア各国が成長し、豊かになるに連れ現地のニーズは次第に日本企業にしか出来ない商品やサービスを求め出して来た。このフィルターにかかるものだけが生き残る。これからは日本企業の視点でなく、この現地の顧客の視点から見なければならない。

神奈川県異業種連携協議会講演会 (予告)

「V字回復したソニーのDNAと未来」

Bridge over COVID water

講師 株式会社ワンダーワークス代表取締役 田村慎吾氏

日時 2022年5月31日(金) 午後2時30分より

会場 神奈川中小企業センター13階第2会議室